

第21回 天文文化研究会

The 21st Workshop on Cultural Studies of Astronomy



2021年7月10日（土）10時スタート，17時30分頃終了

@大阪工業大学梅田キャンパス または オンライン参加形式

(2021-0707版)

本研究会のページ

<http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/20210710/index.html>

会場参加の方へ

- ★ 会場は，大阪工業大学梅田キャンパス（大阪市北区茶屋町1番45号，5ページに地図あり）です。12階セミナー室1です。
<http://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>
- ★ 氏名を1階エレベータ前の守衛室に届けてありますので，「天文文化研究会参加」としてカードキーを受け取ってお進みください。守衛室前で検温も必要です。
- ★ 1階には，コンビニエンスストアもあります。
- ★ 昼食は，21階にレストランもありますが，ご持参されることをお勧めします。
- ★ 夕方の情報交換会にご参加の方は，お弁当代 3500円を現金でご用意ください。

オンライン参加の方へ

Zoomを用いて双方向の通信をします。アクセス先はメールにてご案内したものを打ち込んでください。

Slack

- ★ 資料の共有などではSlackを 사용합니다。ウェブブラウザ（Safari, Google Chrome, MS Edge, Firefoxなど）上で無料で使えますが，PC用のアプリケーション Zoom, Slack をインストールした方が，使い勝手がよいです。
- ★ Slackのアクセス先は，前回の研究会と同じです。招待状をメールで送信しておりますので，そこからアクセスしてください。slackの中の『#研究会20210710』というchannelを主に用います。それ以外のところもご覧いただいたり，書き込んでいただいても結構です。
- ★ Zoom と Slack の画面説明は，4ページにあります。

第21回天文文化研究会プログラム 2021年7月10日(土)

会場 大阪工業大学梅田キャンパス

10:00 ご挨拶 松浦清

10:05 【講演】白 雲飛(大阪府立大学) Yunfei Bai (Osaka Pref. U.)

長谷寺の馬鳴菩薩立体曼陀羅図について

概要: 江戸時代の作とされる長谷寺蔵の馬鳴菩薩曼陀羅は木造仏像群で立体的に配置され、ミネアポリス美術研究所に所蔵されている日本・13世紀の絵画の「馬鳴菩薩曼陀羅」の趣旨と同じように見える。しかし、仏像の配置、方位は大きく違っている。絵画のほうは本尊の「馬鳴菩薩」に、中国で「馬明王」とされるぐらい養蚕に関して極める重要な蚕神である馬頭娘「蚕命」を「蚕母」、「蚕印」と一緒に眷属として描かれるのに対し、一方の長谷寺蔵の馬鳴菩薩曼陀羅は本来の天文学的、陰陽五行思想に基づいた配置になっていることが伺える。

11:05 【講演】松浦清(大阪工業大学) Kiyoshi Matsuura (Osaka Inst. Tech.)

久保田桃水<雪之図>の写生的風景 月を描く絵画の構図に見る時間解釈を中心に

概要: 観望される月の形と天空における位置は、その月が観望される時刻と方位の反映であるため、旧暦世界の人々にとって月は生活のリズムを整える上での指標であり、暦法システムの重要な要素であった。月を描く絵画も、それが観望される時刻と方位を画面に描き込むことになるが、時刻や方位を正しく解釈することは必ずしも容易ではない。幕末から明治に活躍した大阪ゆかりの画家・久保田桃水の作品をもとに、月を描く絵画の時間解釈を試みる。

昼休み Lunch Break

13:00 【招待講演】株本訓久(武庫川女子大学) Kunihisa Kabumoto (Mukogawa Women's U.)

岩橋善兵衛を祖とする岩橋家製の望遠鏡

概要: 岩橋善兵衛(1756-1811)は江戸時代の最も有名な望遠鏡製作者の一人である。善兵衛は竹筒製や一閑張製等の優れた望遠鏡を数多く製作し、幕府天文台や伊能忠敬等に提供したことで知られている。また、彼は星宿・月齢・潮汐の早見盤『平天儀』を考案し、望遠鏡による観測成果に基づいて、天文書『平天儀圖解』を著した人物でもある。今回、本講演では岩橋善兵衛の生涯と活動、善兵衛とその後継者によって製作された望遠鏡を中心に、日本の望遠鏡の製造技術の変遷について紹介する。

休憩 集合写真 via Zoom Coffee Break

15:00 ショートトーク or ディスカッション or 連絡事項

大西浩次(国立長野高専)

Kouji Onishi (Nat. Inst. Tech., Nagano College)

市民科学としての「長野県は宇宙県」の近代天文学史100年(15分, オンライン)

西村昌能(NPO法人花山星空ネットワーク)

Masayoshi Nishimura (NPO Kwasan Astro Network)

フツと古代銅鏡(15分, 会場)

米田達郎(大阪工業大学)

Tatsuro Yoneda (Osaka Inst. Tech.)

江戸庶民は『火星』をどのように認識していたか(15分, 会場)

井村誠（大阪工業大学）

Makoto Imura (Osaka Inst. Tech.)

南方熊楠の英文論考「東洋の星座」—The Constellations of the Far East—（10分, 会場）

休憩 short break

鳥居隆（大阪工業大学）

Takashi Torii (Osaka Inst. Tech.)

魅惑のアストロラーベを作る（20分, 会場）

横山恵理（大阪工業大学）

Eri Yokoyama (Osaka Inst. Tech.)

『大乘院寺社雑事記』における祈雨（15分, 会場）

作花一志（京都情報大学院大学）

Kazushi Sakka (Kyoto College of Grad. Studies for Informatics)

改定太陽暦（15分, オンライン）

真貝寿明（大阪工業大学）

Hisaaki Shinkai (Osaka Inst. Tech.)

TBA（10分, 会場）

17:30頃 終了 情報交換会へ

参加者名簿

参加登録者の方々（敬称略，五十音順）7月7日現在（D情報交換会も参加）

**** 会場参加 ****

井村 誠 D
株本訓久
神羽麻紀
真貝寿明 D
鳥居 隆 D
永原順子 D
西村昌能 D
白 雲飛 D
松浦 清 D
三浦泰保
横山恵理 D
吉田 薫
米田達郎

**** オンライン参加 ****

青木成一郎
石田淳
今谷拓郎
岩橋清美
大西浩次
勝俣 隆
加藤賢一
北井礼三郎
君山寿美恵
今野利秋
作花一志
下平 武
高橋あやの

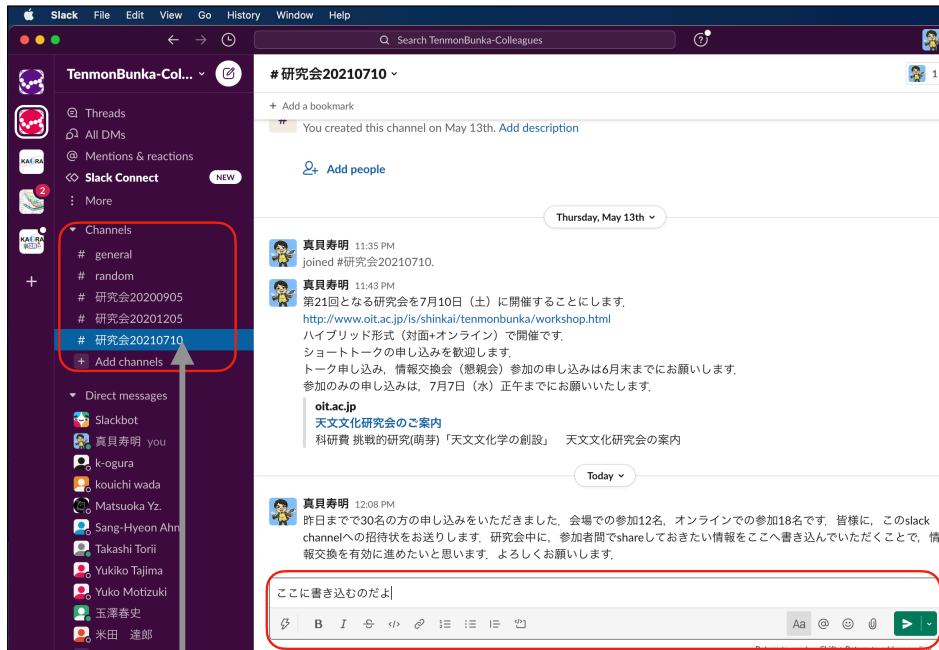
田中慎悟
谷口悌三
玉澤春史
千本英史
塚本達也
内藤誠一郎
福江 慧
古屋昌美
松尾 厚
松岡義一
皆川敏春
吉田春夫

Zoomの画面 (Macintoshの場合)



- (1)マイクのon/off
- (2)自分のカメラのon/off
- (3)参加者一覧を
右に表示
- (4)チャット欄を
右に表示
- (5)手を挙げるマークを出す
手を挙げるマークを消す
- (6)チャットを書き込む

Slackの画面 (Macintoshの場合)



チャンネルといいます。
4つの部屋を用意しています。
general/random/研究会20200905
/研究会20201205 /研究会20210710

ここにコメントを書いて、緑の三角ボタンを押すと
投稿されます。あとから修正もできます。

大阪工業大学 梅田キャンパス（OIT梅田タワー）へのアクセス

<http://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>



所在地：大阪市北区茶屋町1番45号

- ・ JR「大阪」駅から徒歩5分
- ・ 阪急「大阪梅田」駅から徒歩3分
- ・ 阪神「大阪梅田」駅から徒歩7分
- ・ 御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分
- ・ 谷町線「東梅田」駅から徒歩5分

【地下街からのアクセス（地下街直結）】

ホワイトィうめだプチシャンモールをプチ北広場まで進み、ヤンマー本社ビルH-2方向に曲がり地下道を突き当たりまで進む。（JR、地下鉄、各私鉄のすべての駅から雨の日も快適にアクセスできます。）

★入構時は、守衛室にて「天文文化研究会参加」としてご氏名をいただければ、入構に必要なカード・キーが渡されるようにしておきます。体温計測があります。

★会場は12階セミナー室1 です。

謝辞

本研究会は、科学研究助成費・挑戦的研究(萌芽)19K21621『天文文化学の創設：天文と文化遺産を結ぶ文理融合研究の加速』の助成を受けて開催しております。

これまでの研究会の記録は

<http://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/workshop.html>

にてご覧いただけます。

ご案内

情報交換用にメーリングリストを作っております。

tenmon-bunka_AT_googlegroups.com

会員間の情報共有、本研究会のご案内などに利用しております。登録ご希望の方は、

真貝(hisaaki.shinkai_AT_oit.ac.jp)または横山(eri.yokoyama_AT_oit.ac.jp)までお知らせください。

ご案内

次回の研究会は、12月4日（土）を予定しています。